



糖尿病通信

—118—

糖尿病と上手にお付き合いするために

今年も根気よく治療を続けていきましょう

糖尿病は慢性の病気です。長い間には投げ出したくなることもあります。根気よく治療を続けましょう。

1. 糖尿病とわかってても、治療していない人

2014年の調査によると、糖尿病の患者さんの数は316万6000人となり、過去最高となりました。糖尿病の疑いのある人も含めると日本人の男性の約16%、女性の10%が糖尿病ということになります。そして、脳血管障害や心疾患など糖尿病が深くかかわっている病気で亡くなる人が年々増えています。人口10万に対する糖尿病による死亡率を県別に比べてみるとワースト1は徳島県、千葉は9位、ベスト1は神奈川県でした。

早く見つけてきちんと治療したい糖尿病ですが、検診などで糖尿病があることがわかり、治療を勧められても病院を受診しない方たちがいます。その割合は減って来ていますがそれでも、約40%の人たちが、治療を受けていないと言われています。

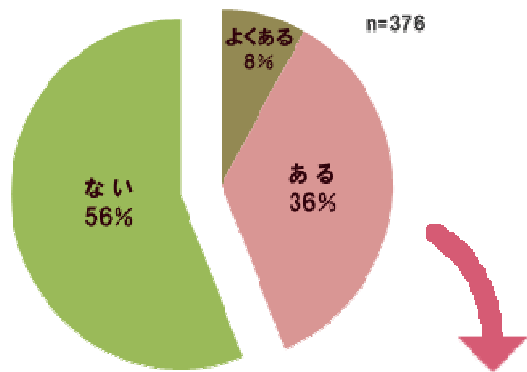


2. 治療を始めても中断してしまう人たち

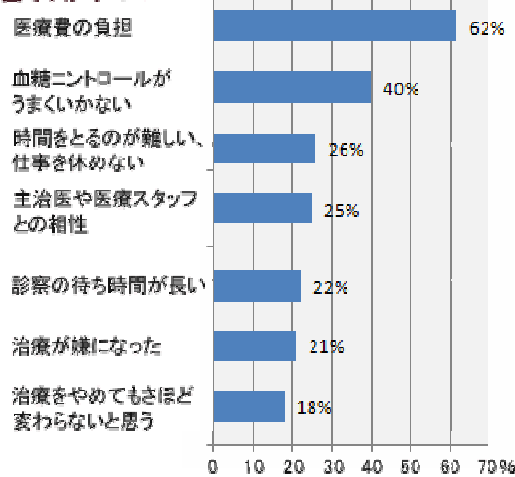
そして、せっかく治療を始めたのに、約15%の人が途中で通院をやめてしまうとのことです。

その理由は様々ですが、きっと皆さんも思い当たることがあることでしょう。糖尿病ネットワークの調査では、実際にやめてしまわないまでも、やめたいと思ったことのある人の割合が40%近くになりました。

Q 通院・治療をやめたいと考えたことはありますか？



どのような理由ですか？ (複数回答)



糖尿病ネットワーク調査、2011年4月発表

そのもっとも多い理由はやはり経済的負担でした。そして次には待ち時間が長い、医師との相性の問題など病院側の問題、治療を受けても結果が思わしくないことなどがあげられました。また、仕事を持つ現役世代では、職場の理解が得られず治療のための休みがとりにくい、就業時間が不規則だったり仕事が多忙で受診する余裕がないなどの切実な問題もあります。

3. それでも中断しないために

糖尿病は自覚症状に乏しい病気なので、中断してもすぐに困ることはありません。しかし治療の中断は当然、病状の悪化と合併症の

進行を招きます。食事や運動など生活習慣の改善は、本当に難しいことです。続けなくてはならないと思うだけで負担になって治療を投げ



げたくくなります。しかし、上手に改善できれば良い結果が付けてくるだけでなく、薬も減らせて経済的にも助かります。(血糖だけでなく血圧や高脂血症などもいっしょに改善できることが多いのです。)

薬を飲むことやインスリンの注射がいや、という方もいますが、体を守るためには必要なことです。病気に対する理解を深め、納得して治療を受けましょう。また、仕事の都合で予約の日に来院できない時に薬が途切れてしまわないよう、少し余裕を持って処方してもらいましょう。病院側も待ち時間を減らしたり、予約を取りやすくするなどの配慮をすることや、患者さんの希望や悩みを聞く姿勢が大切ですね。 内科 柳沢 徳山